

事務事業評価表（補助金等）

評価対象年度	平成 24 年度
1次評価日（主幹等）	25年3月29日
2次評価日（課長等）	25年3月31日

1 事業名	岡谷太鼓普及事業補助金			コード	23204	
2 担当部課	部等	経済部	課等	商業観光課	作成者	今井 康貴
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	観光の振興	
		事務事業	観光情報提供事業			
		予算科目	観光宣伝費	業務委託	全部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
	根拠法令	なし				

●事業の内容（D0）

4 補助等の目的	* 誰のために、どのような状態にしたいのか
① 受益者	岡谷太鼓保存会
② 最終的な意図	岡谷太鼓祭り及び岡谷太鼓を伝承する。

5 補助等の内容	* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容		
① 性質	補助金	④ 方法	一定の比率による補助
補助金の種別	団体育成補助	金額・比率	212,000円
② 根拠	要綱	⑤ 負担割合	国 県 市 100%
③ 対象	市民団体、NPO等	⑥ 期間	年度 ~ 年度
⑦ 制度の内容	岡谷市観光事業振興補助金交付基準		
⑧ 積算方法	太鼓普及事業に要する経費の1/2以内		
⑨ 期待される効果	地域の活性化		
⑩ 前年度の課題への対応	太鼓教室の内容を変更し、太鼓の打ち手の拡大を行なった。		

6 補助等の実績				
区分	22年度	23年度	24年度	25年度(見込み)
① 件数（件）				
見積件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	212,000	212,000	300,000	300,000
財源				
内訳	一般財源	212,000	212,000	300,000
	特定財源	0	0	0
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	212,000	212,000	300,000	
予算執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
支出額の前年度比		100.0%	141.5%	
③ 24年度の交付先	岡谷太鼓保存会			

●事業の評価 (CHECK)

7 妥当性評価		*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。	1			
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。	1			
⑥～⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		高い	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5	10
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。	1			
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

8 有効性評価		*有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		高い
評価項目		はい	いいえ			
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1				
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1				
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1				
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1				
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

9 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)
	伝統ある保存会ではあるが、役員の固定化が指摘されている。
改善方法	(上記の課題をふまえて25年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	徐々に組織を若返らせる。
改善開始時期	H25.4～

●次年度の計画 (PLAN)

10 次年度の方針	継続して実施	11 施策評価による25年度の優先度 *H23年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---